

川崎医療福祉学会誌投稿規定

(1999年4月14日改正)

1. 投稿資格：投稿は、原則として川崎医療福祉学会会員に限る。共著者も論文掲載時には会員でなければならない。
2. 投稿の種類：原稿は和文で、その種類は、総説、論説、原著、短報、資料、その他とし、他雑誌に未発表のものに限る。
その内容は次のとおりとする。
総説：一つのテーマに関連する多くの研究論文の総括、評価、解説等。
論説：各分野における活動、政策、動向などについての提案、提言。
原著：新発見または創意を含むもの。
短報：原著と同じ性格であるが、研究完成の前のもので、速報的に書かれたもの。
資料：調査、統計等に関するもの。
3. 投稿原稿の採択：提出された論文の掲載決定は、査読者の意見を参考にして、編集委員会が行う。
4. 原稿の長さ：原著、総説、論説は、図表、参考文献等を含めて刷り上がり6頁以内とする。短報、資料、その他は、刷り上がり4頁以内とする。(A4判で、1頁は21字43行の2段組、約1,800字)
5. 原稿は、横書きで、パソコンのワープロソフトまたはワードプロセッサを使用して、A4判用紙に1,200字程度(35字×34行など)に作成したものが望ましい。
6. 図表の原図は、縮小製版できるように鮮明で完全なものとし、その大きさは、台紙とも40cm×30cm以内とする。
図表は、本文とは別に、1頁に1点ずつ記載し、図1、図2、……、表1、表2、……として、それを挿入する箇所を本文中の欄外(右側)に指定する。
図表の表題・説明は、別紙に一括して記載する。
7. 引用文献は、30題以内とする。ただし、総説については60題以内とする。
文献は引用順に番号をつけて、最後に一括して、下記の記載例の形式で記す。引用文献の著者名は全員を書く。
[記載例]
〈学術雑誌〉著者名(発行年：西暦)題名。雑誌名[イタリック体]、巻[ボールド体](号)、頁-頁。
1) 倉敷太郎(1991)岡山県の……。川崎医療福祉学会誌、11(1)、222-225。
2) Elkins BH, Pagnotto LD and Smith HL (1974) Concentration adjustment in urinalysis. *American Industrial Hygienist Association Journal*, 35(3), 559-565。
〈単行本〉著者名(発行年：西暦)書名[イタリック体](編著の場合は、題名。編者名、書名[イタリック体])、版、発行所、発行地、pp 頁-頁。
3) 森 忠繁(1985)人口統計。緒方正名編、現代公衆衛生学、初版、朝倉書店、東京、pp23-24。
4) Rosenberg J (1990) Effects of medications on biological levels of industrial chemicals. In Fiserova-Bergerova V and Ogata M eds, *Biological monitoring of exposure to industrial chemicals*, ACGIH, Cincinnati, pp159-162。
8. 原稿には別に表紙をつけ、和文で原稿の種類、表題、著者名、所属機関名、代表著者の連絡先およびランニングタイトル(30字以内)を、また、英文で表題、著者名、連絡先およびKey words(5語以内)を記入する。さらに、原稿枚数、別刷の希望部数を記入する。
9. 総説、論説および原著論文には、800字以内の和文要約と200語以内の英文 abstractをつける。短報には400字以内の和文要約と100語以内の英文 abstractをつけることができる。
10. 原稿の送付：
1) 宛先；〒701-0193 倉敷市松島288 川崎医療福祉大学 川崎医療福祉学会誌編集委員長。
2) 原稿には、表紙から頁数を通し番号でふり、オリジナルのほかコピー1部を添えて提出する。さらに、英文 abstract および和文要約については、コピー1部を別に添える。
また、掲載が決定した論文では、原稿をテキストファイル形式で保存したフロッピーディスクも併せて提出する。
11. 論文の刷り上がり頁が規定頁を越えた場合の超過分、写真色刷り、また校正時に原文に著しい訂正を加えた場合は、著者の実費負担とする。
別刷は、30部まで無料とし、これを越える場合は、実費とする。
12. 投稿規定の改正は、編集委員会の議を経て行う。